

## 第5回「高校生と保護者の進路に関する意識調査」

# 震災後の 親と子のキャリア観

進路に関する考え方や親子コミュニケーションの実態を探り、より良いあり方を検討・提言するべく、

2003年度より社団法人全国高等学校PTA連合会と

株式会社リクルートが共同で開始した

「高校生と保護者の進路に関する意識調査」。

その第5回調査結果をここに報告いたします。

社会の価値観の移り変わりや、親子の関係性の変化、折々の景気動向など、毎回さまざまな要因が掛け合わさり、調査データとなって表れます。

前回第4回は、リーマンショックによる急激な景気後退が本調査にもとりわけ大きなインパクトを与えました。

今回第5回は、昨年3月に発生した東日本大震災および

福島第二原子力発電所事故が焦点になるのではないかと考えました。



# CONTENTS

## I 親子コミュニケーションの実態

## II 進学・職業に関する考え

## III 進路にまつわる期待と不安

## IV 震災・原発事故の影響

## V 保護者の動きと高校への要望

調査結果を保護者はこう見た

**(社)全国高等学校PTA連合会と  
小誌編集部**の検討会

調査講評

東京大学社会科学研究所教授

**玄田有史**

今回の震災・事故が進路選択意識や行動、親子コミュニケーションにどう影響を与えたのか。それを本特集で確認してください。

今号は左記I～Vの各章で調査データを公表するとともに、社団法人全国高等学校PTA連合会のメンバーによる検討会で保護者の率直な意見も聞き出しています。

調査監修者の東京大学 玄田有史教授のコメントと合わせ、ぜひ参考にしてください。

## 第5回『高校生と保護者の進路に関する意識調査』概要

- 調査対象／全国の高校2年生とその保護者  
(全国高等学校PTA連合会より依頼した9都道府県の公立高校27校：2年生2クラス分の高校生と保護者)  
高校タイプ／普通科18校 専門学科7校 総合学科2校
- 調査期間／2011年9月20日～10月31日
- 調査方法／①高校生：ホームルームにてアンケートに回答  
②保護者：高校生から保護者へアンケートを手渡し  
③学級担任が高校生分と保護者分を取りまとめ、その後学校責任者が学校分として返送
- 回収数／高校生1,960、保護者1,422
- 有効回答数／高校生1,959、保護者1,417

## 回答者プロフィール

### 【高校生】

- 性別／男子49.9% 女子46.5% (無回答3.7%)
- 地域分布／北海道12.1% 青森県11.8% 茨城県11.6% 東京都8.7% 新潟県11.1%  
愛知県10.7% 大阪府11.5% 鳥取県10.7% 佐賀県11.8%
- 高校卒業後の希望進路／大学・短大進学55.5% 専門学校進学17.7% 就職21.9%  
留学0.6% フリーター0.5% その他1.9% (無回答2.0%)

### 【保護者】

- 続柄／父親15.0% 母親81.7% その他0.7% (無回答2.6%)
- 子どもの性別／男子47.8% 女子49.6% (無回答2.5%)
- 地域分布／北海道14.4% 青森県15.5% 茨城県13.1% 東京都3.0% 新潟県13.1%  
愛知県11.9% 大阪府6.3% 鳥取県8.0% 佐賀県14.8%
- 子どもに対する高校卒業後の希望進路／大学・短大進学47.9% 専門学校進学12.2% 就職17.7%  
留学0.1% その他0.7% 子どもが希望する進路なら何でもいい19.2% (無回答2.2%)